学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びます。
・篆隷行から楷書に至る様々な書体の漢字や様々な表現の仮名を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	・国語科書写と芸術科書道 ・書体の変遷 ・用具・用材 ・姿勢・執筆法	a:【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（鑑） 【技】目的や用途に即した効果的な表現、楷書と仮名や行書と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:書写と書道の類似点・相違点、書体の変遷や用具用材に興味を持ち、今後の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	漢字の書 楷書	・初唐の代表的な古典の臨書および鑑賞 「九成宮禮泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」	a:【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（鑑） 【技】楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形や全体の構成について構想し工夫している。 ・楷書の古典の価値とその根拠につ	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			いて考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に楷書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に楷書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)			
	漢字の書 行書	・行書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「蘭亭序」	a:【知】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（鑑） 【技】行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に行書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に行書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
2学期	漢字の書 篆書	・篆書の代表的な古典の臨書および鑑賞 「泰山刻石」	a：【知】篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（鑑） 【技】篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 b：篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑）			

			c：主体的に篆書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に篆書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている、(鑑)			
2 学 期	篆 刻	・姓名印を作る (白文印と朱文印の二種類を制作)	a:【知】篆刻を構成する様々な要素、書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。(鑑) 【技】目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。 b:篆刻の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に篆刻の幅広い表現の学習に取り組もうとしている。 ・主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	・漢字仮名交じりの書の制作 (カレンダー制作)	a:【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりや用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑） 【技】目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって、捉えている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）			
3学期	創作作品	・一字書の制作 (53 センチ×73 センチの画仙紙)	a:【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（鑑） 【技】漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 b:漢字の書の古典に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に自らの発想と構想に基づく表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート
	仮名の書	・仮名の成り立ち ・仮名の筆使い (単体・連綿) ・変体仮名 ・仮名の代表的な古典の臨書および鑑賞 「高野切第三種」	a:【知】日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解し、用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（鑑） 【技】仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線	観察 ワークシート 提出作品	観察 提出作品	観察 振り返りシート

			質や字形を生かした表現を身に付けている。 b:仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（鑑）			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度